

やまゆり

学校だより

令和5年月31日
16号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行する一
校内研究重点 「WEBQUを活用し、学級の安定と活性化を図る」

学校教育目標重点 「豊かな心の育成」・「地域連携」

地域の方々の背中で学ぶ中学生

5月28日の日曜日に、村内一斉清掃をしました。本校では、「地域への貢献活動」として位置づけています。そこで、事前に参加する目的や参加態度等について生徒が話し合いをしました。①地域の方々に挨拶を主体的にする②清掃に集中してゴミに気づく③怪我をしない④上級生が見本になるという4つの目標を決めて、生徒が参加しました。

私自身も下善之木の自治会長です。5月18日の自治会長会議に参加し、道志村や漁業組合からの援助費用で、お茶やパン等を準備して当日に臨みました。下善之木では35名ほどの参加者があり、小学生も一緒に活動しました。ふるさとを地域の方々と協働して環境整備をする事で、郷土を大切に、豊かな心を育てたいと思います。地域でのご参加ありがとうございました。

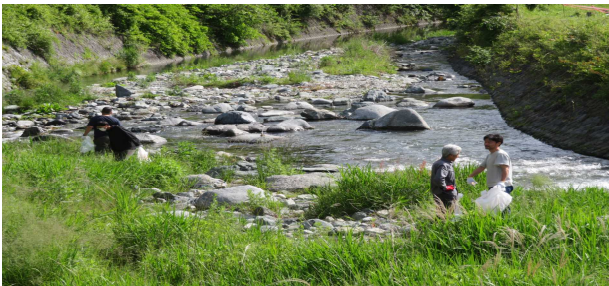
村内一斉に朝8時から、地域の方々が協働して清掃活動を展開しました



道志川の清掃活動



道志川の清流と美しい環境をいつまでも保ちたいものです



大人の地域貢献活動や主体的な活動は生徒の教育にとってこの上ないお手本です。



学校教育重点目標 「確かな学力の育成」

憧れや学ぶ意欲を高めた「高校説明会」

5月30日(月)に「高校説明会」を開催しました。他校では6月～7月に行う学校が多いのですが、本校では最新の正確な情報を早く入手するために5月に行っています。また、2年生と3年生が参加し、本校の保護者は全員参加できる体制を採っています。

富士学苑高校・都留高校・吉田高校・富士河口湖高校・都留興譲館高校・富士北陵高校の6校の先生方から直接、自校の特徴や入試制度等について説明していただきました。

3年生からは、「富士河口湖高校には余り興味を持っていなかったけれど、説明を聞いて考えが大きく変わった」という声を聞きました。

進学先や職業は、「自分を知り、高校や職業について理解が深まれば志望も変わる」ものです。自分の興味や関心、どのように生きていきたいかを考え、「志望校」を決定していきましょう。就きたい職業や学びたい学校が明確になれば、「学ぶ意欲」はとても向上します。また、学びの目的も明確になります。友人や先生、家族とも相談し、夢をもち、学びで夢をつなぎ、情熱で夢を実現して欲しいと思います。最後に、自分にとって良い学校が、本当に「良い学校」です。

2年生・3年生が参加 1年生はパンフレットで学習 富士学苑高校 私学の良さは面倒見です



熱心にパンフレットを見る2年生



富士北陵高校の本校卒業生の説明



学校教育重点目標 「確かな学力の育成」

山梨県の指導主事から、学習指導や校内研究を高く評価されました

5月30日(火)に富士・東部教育事務所の「指導主事」が3名学校を訪問し、学習指導を参観しました。規律が高く、しかも主体的で集団としての活性度も高い生徒の様子を高く評価していただきました。

本校では毎日の学習指導を通して、学力と学校の生活満足度を高める指導をしています。いじめや不登校防止、学力の保障、自己肯定感の向上等を、学習の言語活動を通して向上させる実践を標準化検査で実証的に研究し、毎年公開しています。生徒と教職員の努力が認められたことを大切に、今後もさらに努力したいと思います。

明日は、高村教諭が2年生の音楽科の授業を公開し、その後研究会をします。本校の教職員と都留文科大学のQUの専門家の武蔵教授、そしてオンラインで新潟県の栗島浦中学校の研究主任さんにも参加していただき、研究会をします。

3名の教職員への指導主事の評価



組谷 翔平先生 理科 「無脊椎動物」の学習

- ICT活用で様々な生き物を見せ、アサリの本物も使った学習指導、見通しを持たせる指導も良い。
- 生徒が主体的に知識を獲得したり、思考する場面がとて良かった。



鈴木 ひろみ先生 社会 「化政文化」の学習

- 学習課題が明確で、生徒が予想を立てながら単元で学習を組み立てているところが良い。
- 羅針盤を思い出させるときに、1年生の学習の香辛料と関連付け、世界史の学びにも繋がっていた。



高村 江里子先生 音楽「音楽鑑賞ボレロ」の学習

- 学習指導要領を理解し、生徒の資質・能力を伸ばす指導が展開されていた。ICTも効果的に活用。
- 単元を通してねらいを達成する学習目標と学習課題、そして評価が一体になっている理想の指導。

学校教育重点目標 「生徒の良さを伸ばし、課題を改善する連携」

全日本中学校長会に参加し、教育諸課題改善について学びました

5月25日(木)・26日(金)の2日間、代々木のオリンピックセンターで開催された全日本中学校長会に参加しました。47都道府県の校長会の会長・副会長等が参加し、教育課題に対してどのように対応するかを協議しました。

文部科学省の担当者も参加し、最新の情報を使って講演して下さいました。この学びを山梨県、南都留の教育に生かし、いじめや不登校の防止、学力保障、特別支援教育の充実、働き方改革、部活動の地域移行、コミュニティ・スクールの充実・人材不足解消、人材育成、危機管理、等の山積する教育課題に対応していきたいと思えます。

6月8日(木)・9日(金)には、10年に一度の関東甲信越地区校長会の研究大会が山梨県で開催され、本校の実践も発表します。

3年ぶりに参集で行われた校長会全国大会



文部科学省の担当者からも講演で学びました いじめ・不登校問題は深刻な課題です

